

# 横浜市東部方面斎場 (仮称)の整備について

日時 平成31年3月22日（金） 18時30分～  
平成31年3月23日（土） 14時00分～  
場所 生麦地区センター

横浜市 健康福祉局 環境施設課

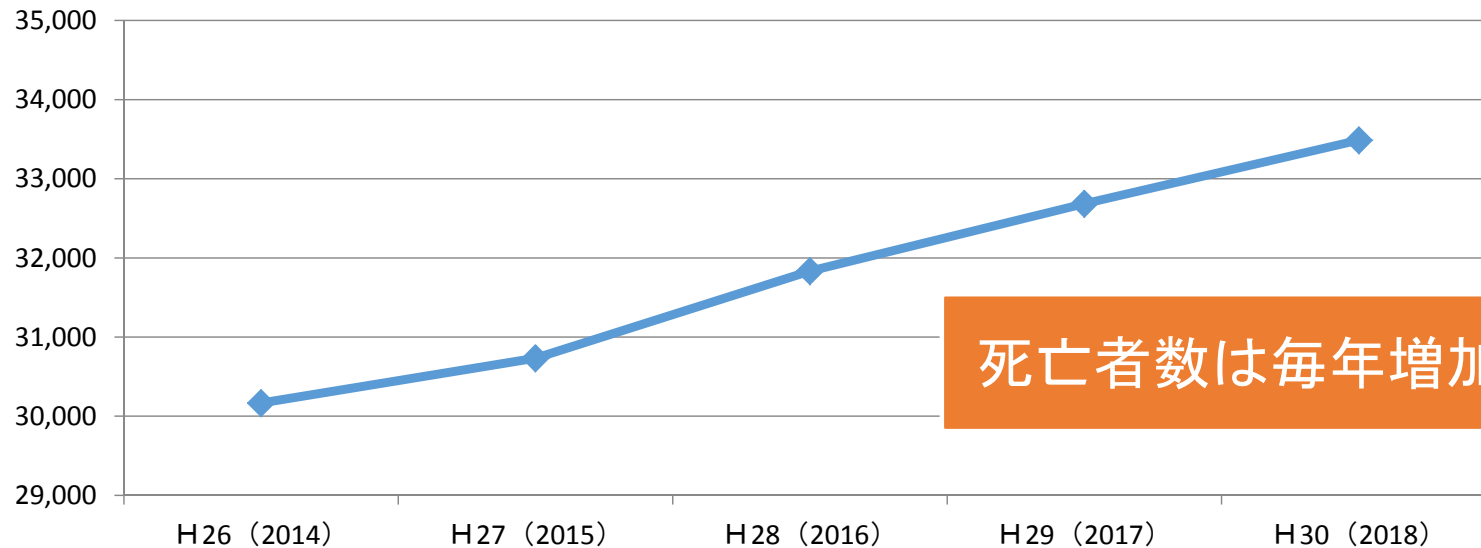
# 目次

- I 横浜市の現状・整備用地
- II 整備概要
- III 周辺交通関係
- IV 今後のスケジュール

# 目次

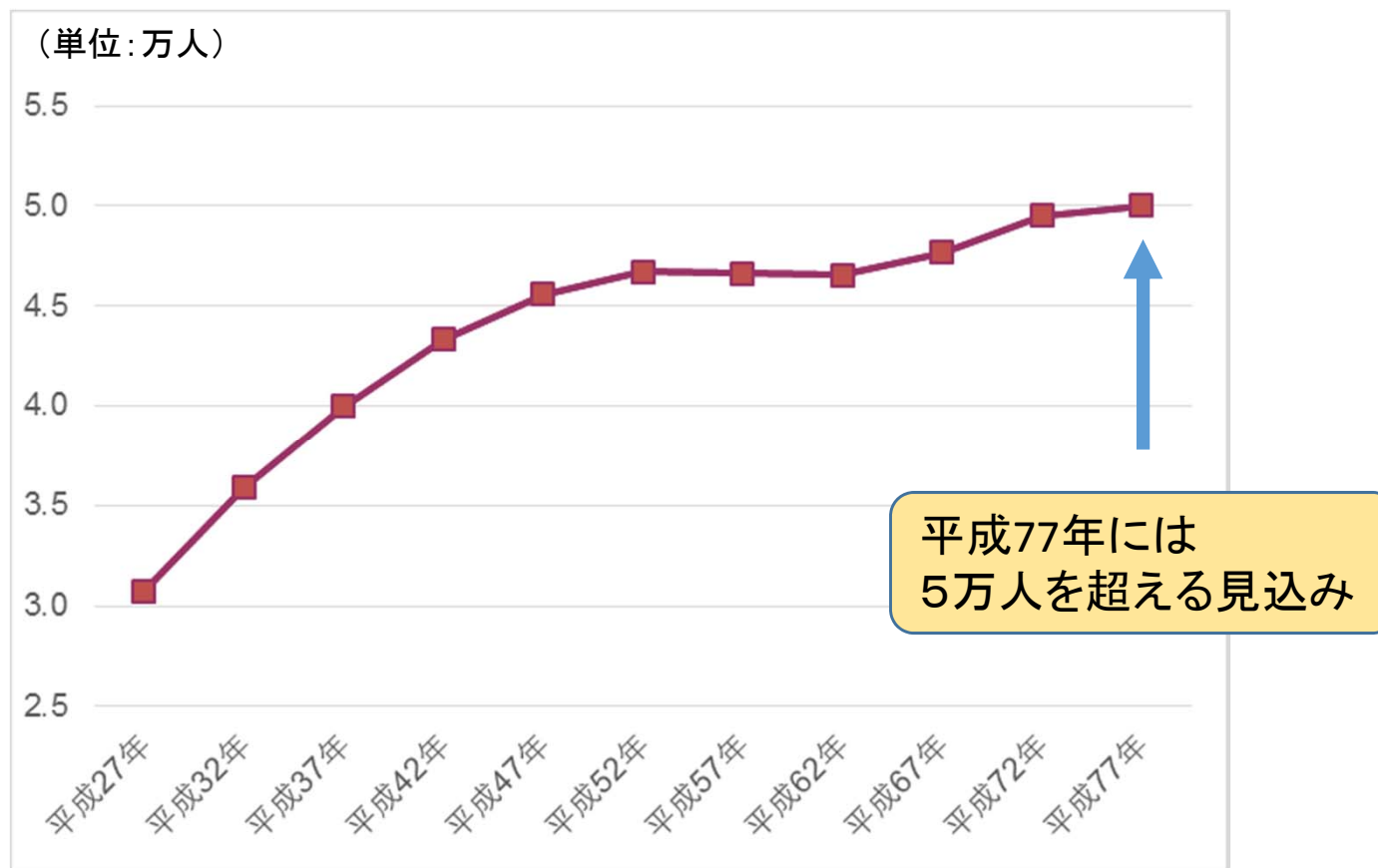
- I 横浜市の現状・整備用地
- II 整備概要
- III 周辺交通関係
- IV 今後のスケジュール

## 最近5か年の市内死亡者数



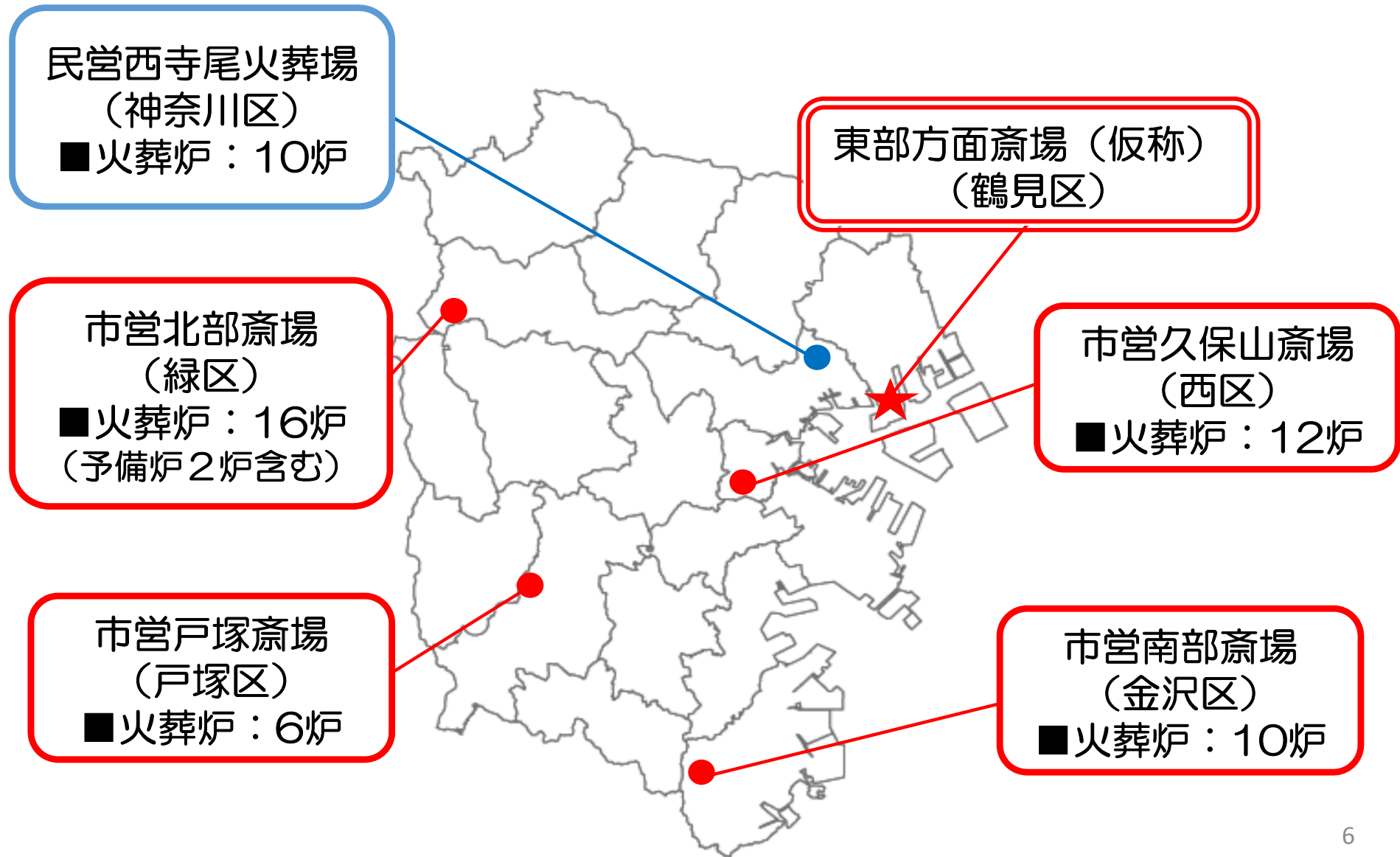
	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
死亡者数	30,167人	30,733人	31,833人	32,684人	33,487人
前年比	-	+949人	+1,100人	+851人	+803人

# 横浜市の死亡者数推計



年	平成37年 (2025年)	平成47年 (2035年)	平成57年 (2045年)	平成67年 (2055年)	平成77年 (2065年)
死亡者数(人)	39,981	45,597	46,643	47,689	50,004

## 市内斎場の配置図



## 市内斎場の火葬実績

年度	市営斎場 合計	市営斎場				民営 西寺尾 火葬場	合計
		久保山斎場	南部斎場	北部斎場	戸塚斎場		
平成25年度 (2013)	27,448	8,251	5,703	8,820	4,674	2,144	29,592
平成26年度 (2014)	28,927	8,842	6,068	9,282	4,735	2,129	31,056
平成27年度 (2015)	29,053	8,805	6,233	9,319	4,696	2,112	31,165
平成28年度 (2016)	29,399	8,985	6,296	9,395	4,723	2,282	31,681
平成29年度 (2017)	30,258	9,183	6,493	9,677	4,905	2,558	32,816

過去5年間で約3,200件の増加

# I 横浜市の現状・整備用地

## 整備用地の位置(広域)

至 鶴見駅

生麦駅

生麦JCT

新子安駅  
京急新子安駅

整備用地

住所: 鶴見区大黒町18-18  
現況: 鶴見区スポーツ広場





## 整備用地の写真



※(右)現況は鶴見区スポーツ広場として暫定利用中のため、サッカーゴールや防球ネットが設置されている。

# 目次

- I 横浜市の現状・整備用地
- II 整備概要
- III 周辺交通関係
- IV 今後のスケジュール

# 整備概要

所 在	鶴見区大黒町18-18 (市有地)	面 積	8,838.97m <sup>2</sup>
用途地域	工業専用地域	建ぺい率/ 容積率	60% / 200%
臨港地区	横浜港臨港地区 (商港区)	現 況	暫定利用中 (鶴見区スポーツ広場)
規 模 (想定)※	延床面積 約20,000m <sup>2</sup>	整 備 費	約173億円

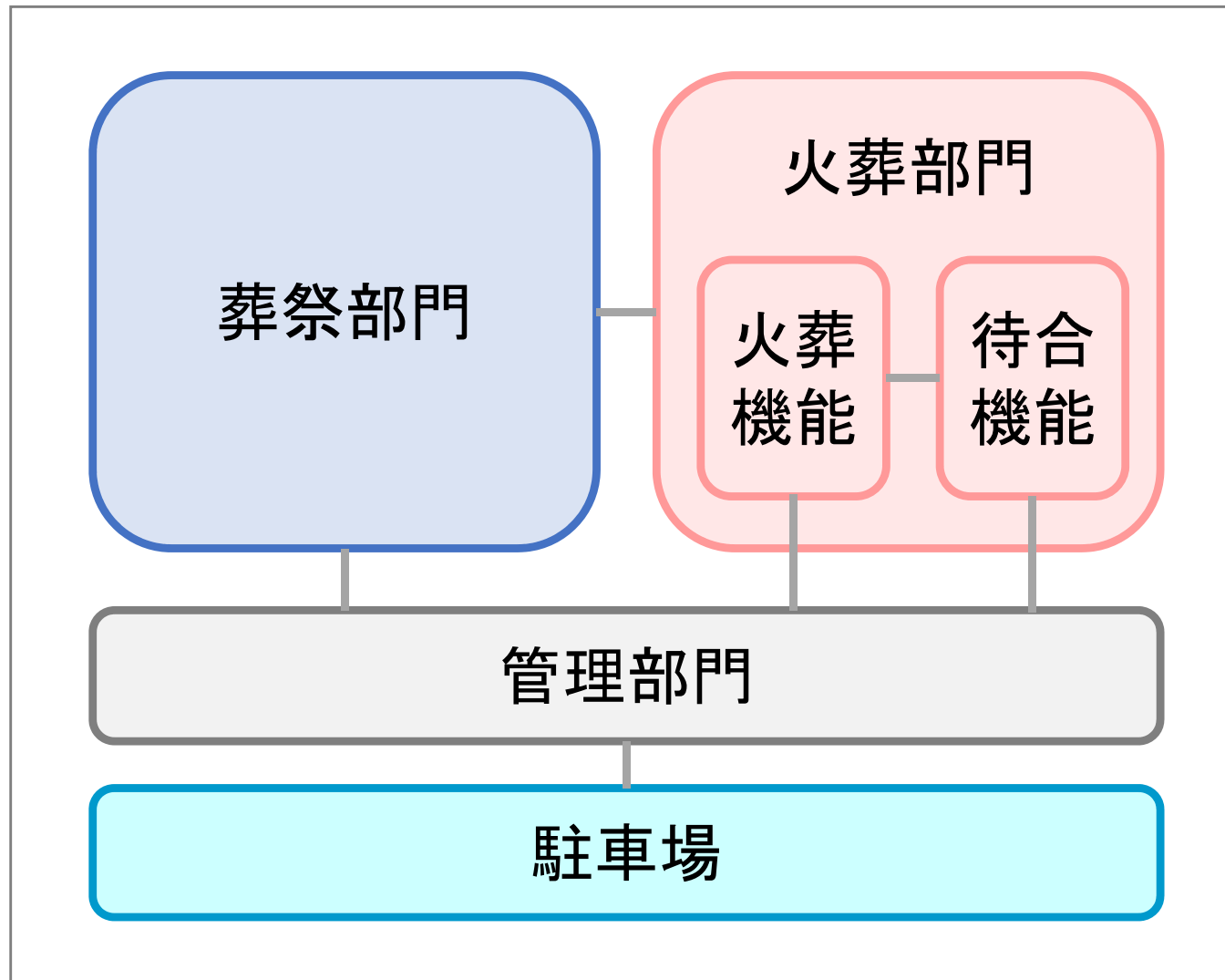
※上記内容は現時点での想定となりますので、今後の設計作業で変更となる場合があります。

### 導入機能について

- ・火葬炉16炉(予備炉1炉を含む)
- ・炉前ホール(告別、収骨スペース)
- ・休憩室
- ・事務室
- ・葬祭ホール
- ・遺体安置設備(冷蔵機能付き)
- ・駐車場
- ・売店

※葬祭ホール・遺体安置設備についても、市民の皆さまからのご要望をふまえ、設置します。

### 斎場の構成イメージ



### 火葬について①(到着～収骨)



### 火葬について②(到着)

到着

告別

見送り

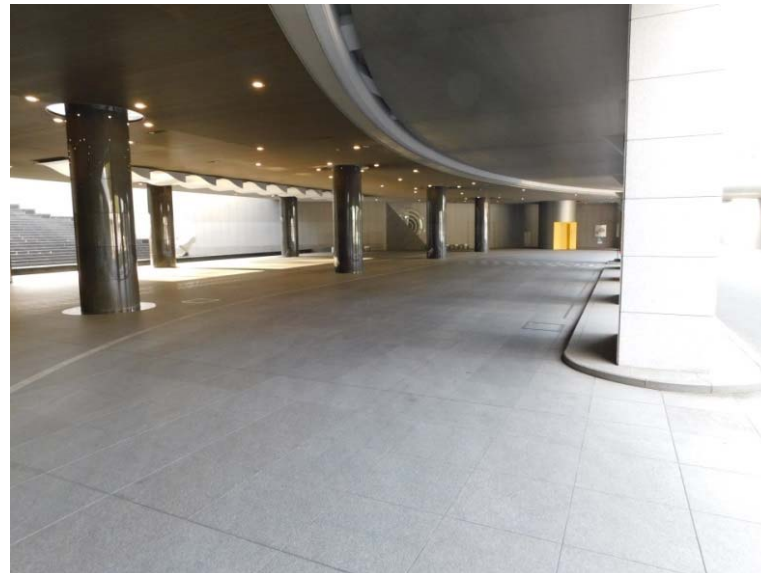
火葬

待合

収骨

車寄せで棺を下ろし、炉前ホールへと進みます

車寄せ



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>

### 火葬について③(告別・見送り)

到着

炉前ホールで告別と見送りをを行います

告別

約15分

見送り

火葬

待合

収骨

炉前ホール



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>



### 火葬について④(火葬・待合)

到着

告別

見送り

火葬

待合

収骨

火葬を行う間、会葬者は休憩室や待合スペースでお待ちいただきます

休憩室

約60分



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>

### 火葬について⑤(収骨)

到着

告別

見送り

火葬

待合

収骨

約15分

炉前ホールで、ご遺骨を骨壺に  
収めます

炉前ホール



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>

# 葬祭ホールについて

葬祭ホール

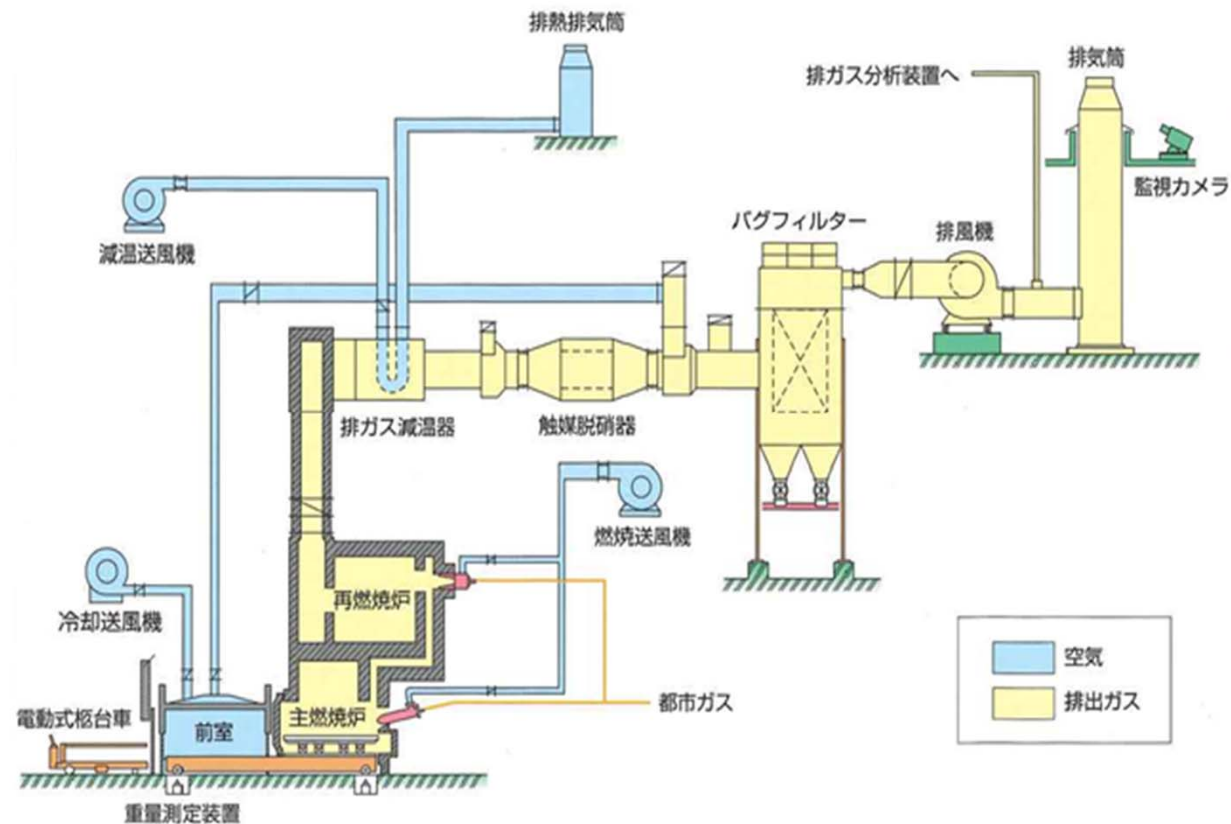
東部方面斎場(仮称)において

通夜・告別式などを行うこともできます



<イメージ写真:北部斎場(緑区)>

# 火葬について⑥(火葬炉設備)



<横浜市北部斎場の火葬炉設備(参考)>

火葬炉には最新の公害防止設備を備え、無煙、無臭化を図ります。

# 火葬について⑦(火葬炉設備)

火葬炉の運転状況を把握するため、監視室  
で常時モニタリングを行います

炉裏



監視室



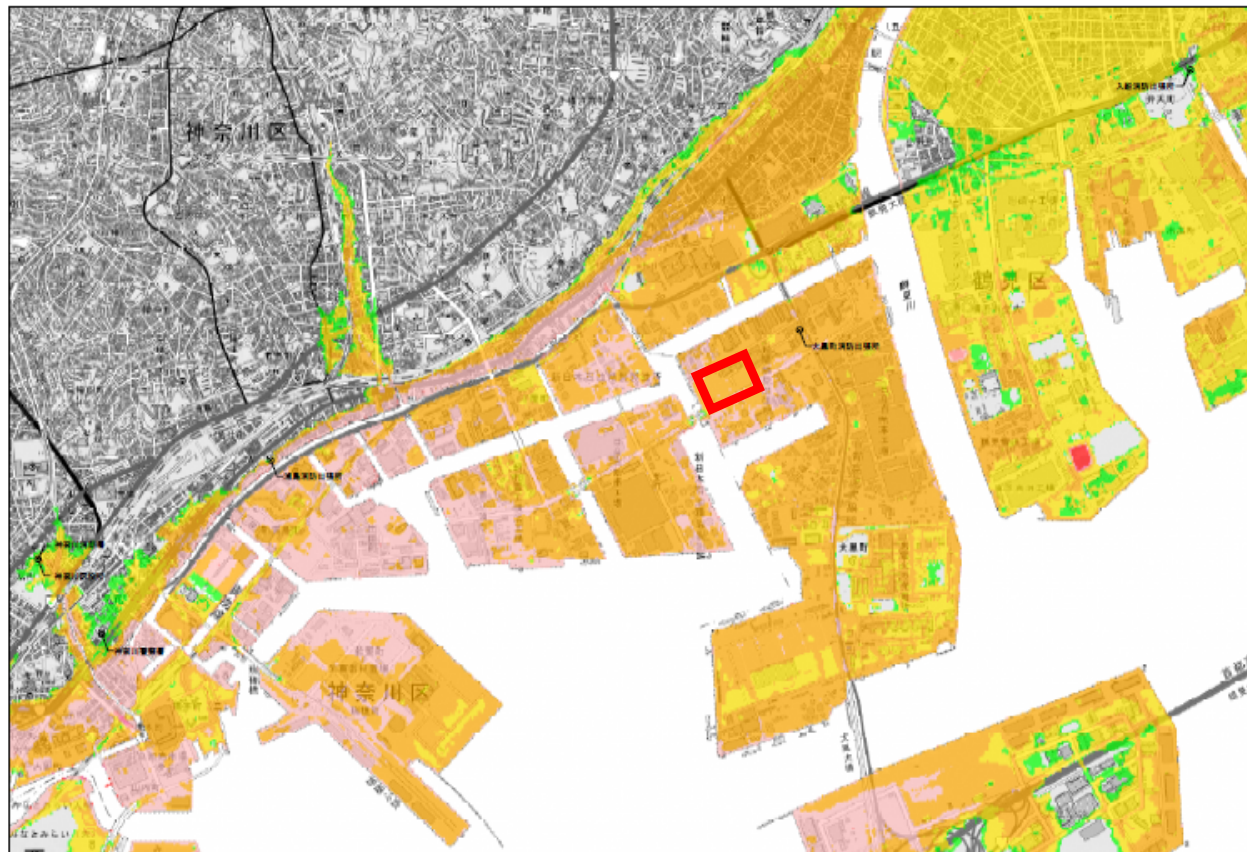
### 斎場の防災対策について①

耐震化対策	斎場は、発災時も機能を維持するべき施設であることから、高い耐震性を有するよう設計します。
液状化対策 (例)	建物： 地質調査を行い、土壌の状況を把握した上で、地盤改良や杭の施工など適した工法の採用を検討します。  ライフライン(水道、下水道など)： 液状化による地盤の変異に対応した管とすることなどを検討します。

※今後の設計作業において詳細を検討していきます。

# 斎場の防災対策について②

## 2メートル未満の津波が想定される場所



<出典：神奈川県津波浸水想定図>

### 斎場の防災対策について③

→対策として

- ①建物を津波避難施設とし、  
外部からの避難者を受け入れ



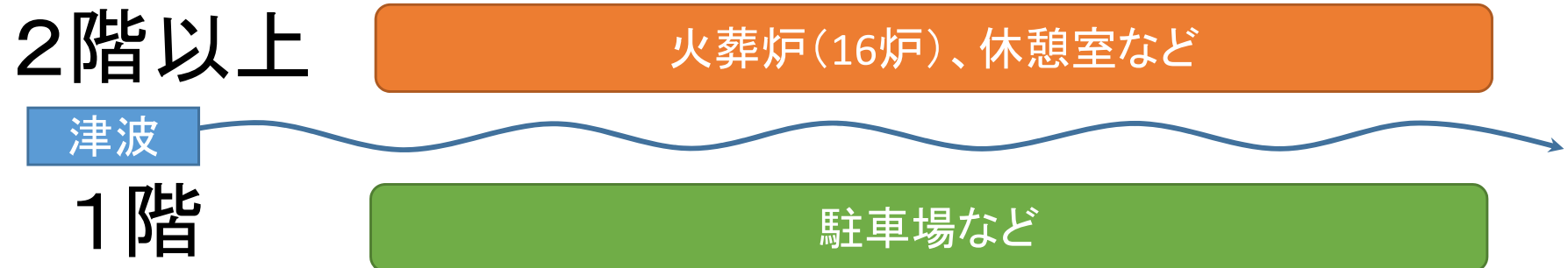
<イメージ写真:名古屋市立第二斎場>



### 斎場の防災対策について④

→対策として

②火葬炉や主な諸室を2階以上に配置する



# 目次

- I 横浜市の現状・整備用地
- II 整備概要
- III 周辺交通関係
- IV 今後のスケジュール

## 整備用地へのアクセスルート(広域図)



## 市営4斎場の交通量調査結果【火葬】

- ・夏季、冬季の2回(各3日間)実施しました。

### 【1件あたりの平均来場車両台数】

時季	車両台数
夏季(8月)	6.5台/件
冬季(1月)	7.0台/件
平均	6.8台/件

## 東部方面斎場(仮称)の来場車両台数(想定)【火葬】

### 【1件あたりの平均来場車両台数】

- ・ 7.0台/件

### 【1日あたりの火葬件数(想定)】

- ・ 最大56件 (=16炉(※)×3.5回転)

※火葬件数が最も多い時期(1月)に、通常は15炉の稼働ですが、予備炉1炉も含めて16炉全てを稼働したと仮定

### 【1日あたりの入退場車両台数(想定)】

区分(時間)	1日あたりの平均台数
入場(9:00-15:30)	約400台(≒7.0台/件×56件)
退場(10:30-17:00)	約400台(≒7.0台/件×56件)
入退場合計	約800台

※火葬(9:00~17:00)のため、延べ約400台が入場し、退場することが想定されます。

## 市営3斎場の交通量調査結果【通夜】

- ・夏季、冬季の2回(各3日間)実施しました。

### 【1件あたりの平均来場車両台数】

	北部斎場 4室(各100席)	南部斎場 2室(48席、67席)	戸塚斎場 2室(各64席)
夏季(8月)	16.4台/件	22.2台/件	9.5台/件
冬季(1月)	39.8台/件	8.2台/件	11.8台/件
平均	28.1台/件	15.2台/件	10.7台/件

※台数には、会場設営業者の車両を含みます。

## 市営3斎場の交通量調査結果【通夜】

- ・夏季、冬季の2回(各3日間)実施しました。

### 【1件あたりの平均来場車両台数】

	北部斎場 4室(各100席)	南部斎場 2室(48席、67席)	戸塚斎場 2室(各64席)	南部斎場と 戸塚斎場の平均
夏季(8月)	16.4台/件	22.2台/件	9.5台/件	15.8台/件
冬季(1月)	39.8台/件	8.2台/件	11.8台/件	10.0台/件
平均	28.1台/件	15.2台/件	10.7台/件	12.9台/件

※台数には、会場設営業者の車両を含みます。

## 東部方面斎場(仮称)の来場車両台数(想定)【通夜】

### 【1件あたりの平均来場車両台数】

- ・約60人規模の葬祭ホールを整備した場合：[15.8台/件\(約16台\)](#)

### 【1日あたりの入退場車両台数(想定)】

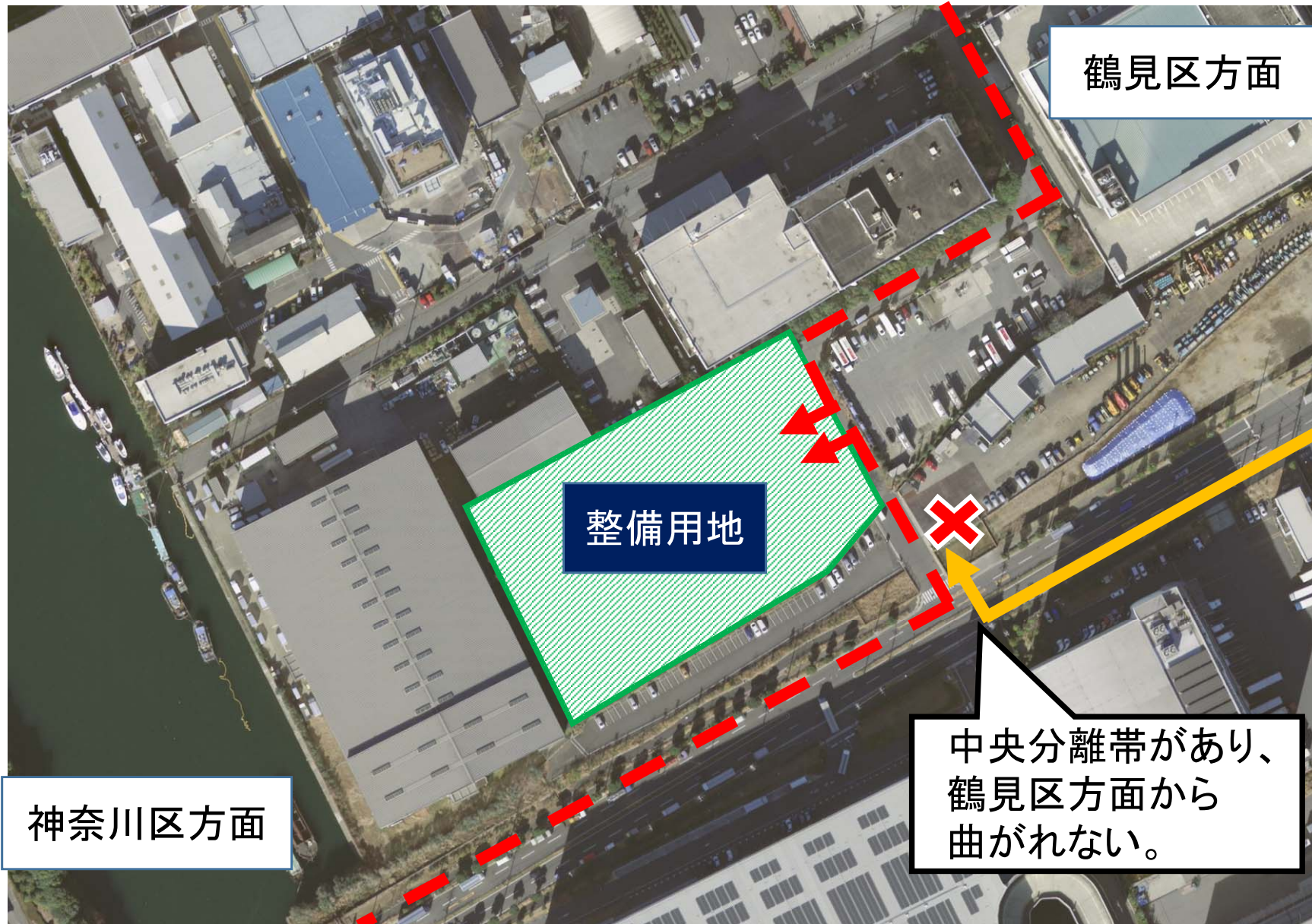
- ・葬祭ホールを2室整備した場合

	葬祭ホール1	葬祭ホール2	合計
通夜の時間	18:00-19:00	19:00-20:00	
入場台数	約16台	約16台	約32台
退場台数	約16台	約16台	約32台
入退場合計	約64台		

※通夜(18:00~20:00)のため、延べ約32台が入場し、退場することが想定されます。



## 整備用地への入場ルート



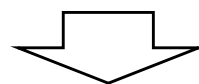
## 整備用地からの退場ルート



## 「課題」と「対策の考え方」

### 【課題】

- 現状、「入場・退場ルート」が限定されているなか、
- ・火葬（9時～17時）のため、延べ約400台が入場し、退場します。
  - ・通夜（18時～20時）のため、延べ約 32台が入場し、退場します。



### 【対策の考え方】

#### ハード（整備）面での対策

- ・入退場車両の通行ルートが一方向に偏らないようにするため、産業道路の交差点を改良できるよう、神奈川県警察等と協議を進めていきます。

#### ソフト（運営）面での対策

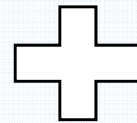
- ・入退場車両数の分散化を図るため、1時間あたりの「火葬受付時間枠」の設定を検討していきます。

## 東部方面斎場(仮称)の通行ルートについて

### 【 交通量調査 】

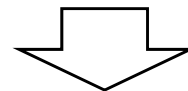
平成30年度

市営4斎場の  
交通量調査



平成31年度

整備用地周辺道路の  
交通量調査



### 【 調査結果検討 】

調査結果を踏まえて、交通量を予測し、通行ルートを検討します。

- ① 周辺の交通に与える影響を考慮した通行ルート
- ② 斎場の利用者が安全に来場いただくことができる通行ルート

# 目次

- I 横浜市の現状・整備用地
- II 整備概要
- III 周辺交通関係
- IV 今後のスケジュール

### 平成31年度の業務内容(予定)

- 基本設計
- 火葬炉調査
- 自主アセス
- 交通量調査

### 基本設計とは

- ・今回の導入機能を踏まえ、具体的な広さ、高さ、レイアウト(部屋の配置)などを検討し、基本的な図面、仕様を作成します

### 火葬炉調査とは

- ・火葬炉の仕様や性能を検討するための調査を行います

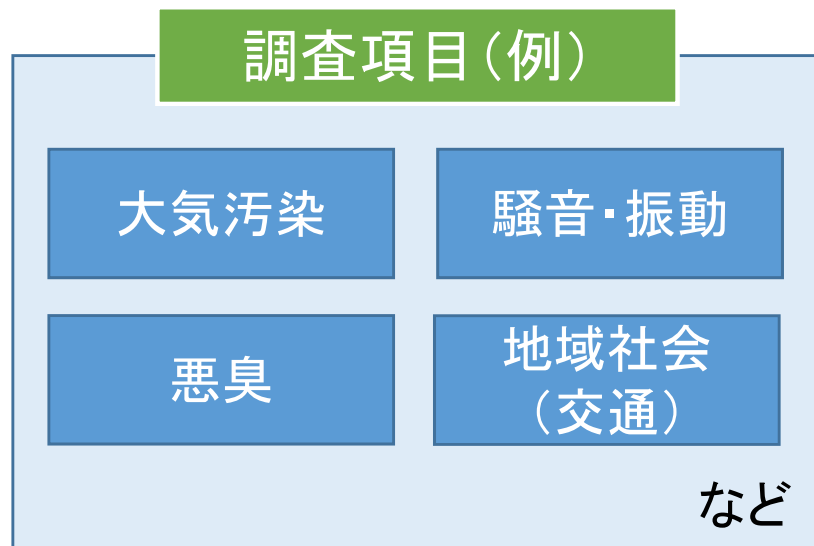
#### 火葬炉調査の主な内容

- ☑火葬炉や各設備（排ガス処理設備、制御設備など）の構造、規模、方式等
- ☑騒音・振動・臭気に関する性能基準など



### 環境アセスメント(自主)とは

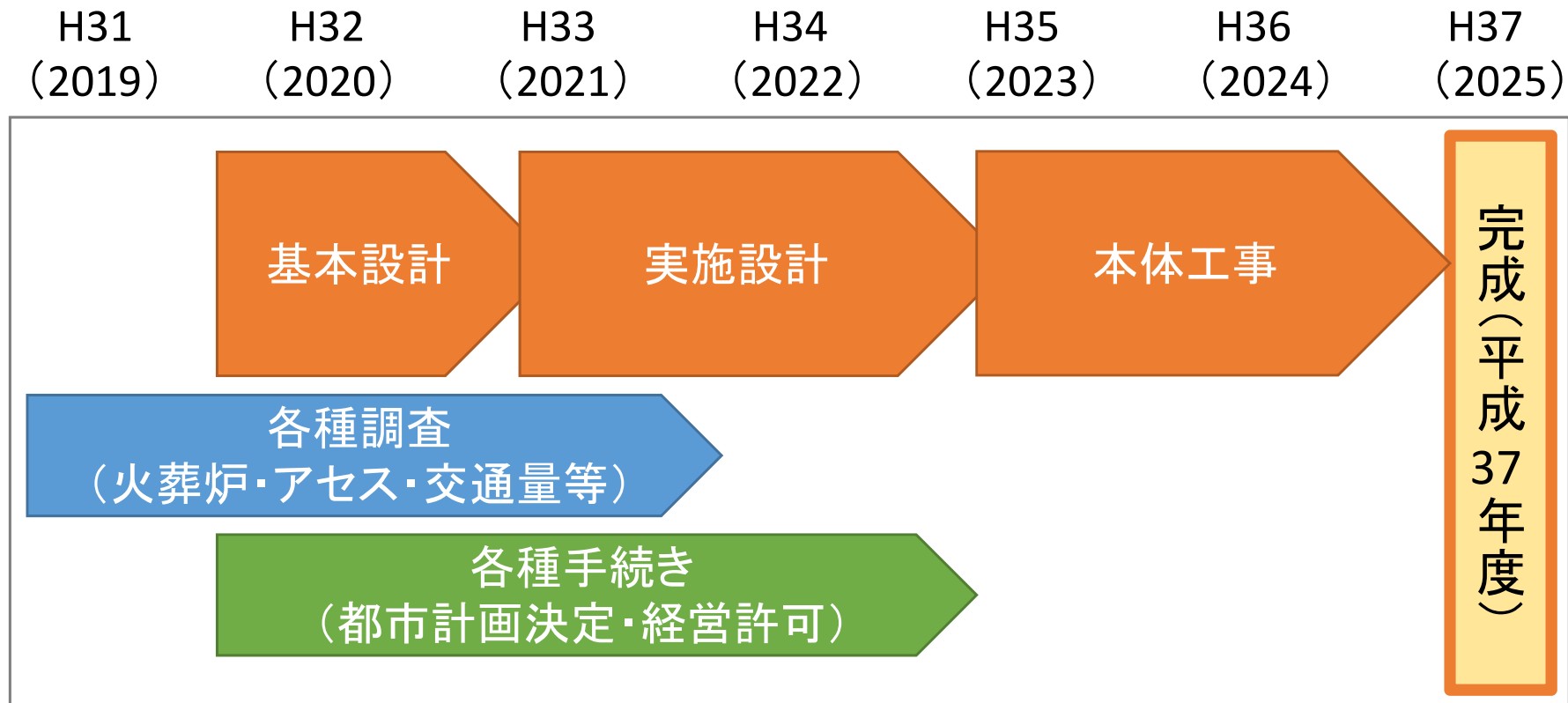
- ・周辺環境に及ぼす影響を確認するため、事前に調査、予測、評価を行うこと



- ・当事業は、施設規模からすると「横浜市環境影響評価条例」の対象外  
→しかし、当事業が環境へ与える影響を調査することは重要なことと考え、自主的に実施します。

※調査項目については今後選定予定

# IV 今後のスケジュール



※ 現時点での想定スケジュールです。  
事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

ご清聴ありがとうございました

《問合せ先》

横浜市健康福祉局 健康安全部 環境施設課

TEL:045-671-2450 FAX:045-664-6753

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 市庁舎7階(704号室)